

ご挨拶

奈良学園大学
社会・国際連携センター
センター長 善野 八千子



り~べるカレッジ自粛について

平素は、公開講座り~べるカレッジにご参加いただき、有難うございます。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人が集まるイベントを自粛し開催中止と致しました。楽しみにして下さっていた皆様には誠に申し訳ございません。

人と人の距離を引き離すウィルスとの闘いは長期戦のように報道が続いております。しかし、支え合いの心の距離は離ればなれにならないよう、これまでの「笑顔で歌声が響き、学びが深まる機会」の工夫を模索中です。

当センターは、社会及び地域との連携活動の推進を進めて参ります。引き続き、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

第29回大学と地域をつなぐ公開講座

「和&輪コンサート」 「歌い継ぐ日本の心の歌」と「イタリアの歌」

開催日 2019年6月1日(土) 14:00~16:00
場所 王寺町り~べるホール

社会・国際連携センター
令和元年度 第1回
「り~べるカレッジ」を
開催いたしました。



代表講師 奈良学園大学 瀧明 知恵子先生

コンサートでは、ご来場のあらゆる世代の皆様方が楽しんでいただけるよう、和楽器、洋楽器、声楽、合唱などの演奏者の方々による多彩なプログラムで行われました。

童謡や唱歌、そしてカンツォーネや合唱による爽やかな歌声。箏、尺八での和の楽器が織りなす幻想的な響き。バイオリンやピアノの美しい調べ等、国や時代の枠を超えて多種多様な音の響きに会場が包まれその美しさ、楽しさが伝わってくる演奏会となりました。

令和元年度の第1回目りのり~べるカレッジとして、「和&輪コンサート」と題し、本学瀧明知恵子講師により企画され、歌い継ぐべき日本の懐かしい童謡や唱歌を楽しみながら、日本の伝統文化、美しい景観、思いやりの心を音楽を通して再発見しようという主旨で行われました。開場の時間から多くのご来場があり、開演時にはホール収容人数を遥かに越え、急遽臨時のパイプ椅子を空きスペースに並べるほどの盛況ぶりでした。



本年度は新型コロナ感染対策のため中止となりましたが、心癒される「和の音楽」、そして「地域の輪」が今後とも広がり深まっていくことを願っております。

「想像してみよう！ 子どもたちが大人になる頃の社会を」

第30回大学と地域をつなぐ公開講座

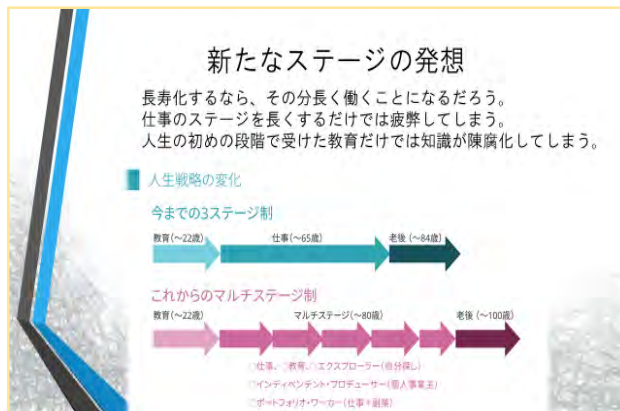
社会・国際連携センター 令和元年度 第2回
「リ〜べるカレッジ」を開催いたしました。

開催日 令和元年年6月15日(土)
時間 13:30~15:00
場所 地域交流センター フリールーム
講師 奈良学園大学 山田 均先生

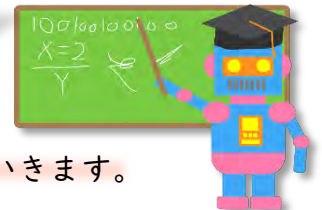
子どもたちが大人になって、社会で活躍する頃には「人生100年時代」と言われるように、今よりも、もっと少子高齢化が進んでいます。そして、グローバル化の進展により外国の人と一緒に仕事をしたり、勉強したりすることが当たり前になっていることでしょう。



さらに、AI(人工知能)の進化により、現在の仕事の半分くらいは、AIが人に替わってすることになっているだろうと言われています。



そこで、子どもたちが生きていく未来を見据えて、どのように教育が変化していくのかについて、現在、起こっている「Society5.0」「GAFA」「納得解」などのキーワードを手がかりに、参加者と一緒に考えていきました。



このような時代の変化に伴い、学校教育の在り方も変化していきます。

社会・国際連携センター 令和元年度 第3回「リ〜べるカレッジ」を開催いたしました。

第31回大学と地域をつなぐ公開講座

「台湾の疫病払いの祭り」

講師 奈良学園大学 山田 明広先生

開催日 令和元年年6月29日(土)
時間 13:30~15:00
場所 地域交流センター
フリールーム

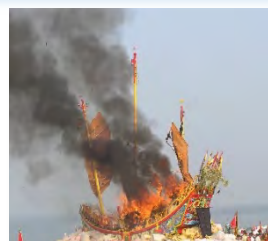
台湾は南方に位置し、高温多湿であるため、昔から疫病に悩まされてきた。このような台湾では、疫病を払うことを目的とした宗教行事が多々存在するが、中でも特に大規模かつよく知られるものに、「迎王祭」とか「王醮」とか呼ばれる祭りがある。



この祭りは、民間の最高神たる天帝(玉皇大帝)に代わって巡察にやってくる「王爺」という神を迎えて歓待を尽くし、その地域の巡察をさせて疫病を駆逐させ、最後に王船と呼ばれる船に乗せて送り出すというもので、基本的には、廟という宗教施設を中心にその地域総出で数日から1週間程度かけて行われる。祭りの期間中、廟の建物内では祭壇を設けて道教の「醮」という儀式が行われるほか、廟の本殿には「王府」(王爺が駐留する場所)が設けられて王爺に対する種々の儀礼が行われ(写真左)、さらに、廟の外では種々の民間信仰・民間習俗の活動が行われる(写真右)。



この祭りのクライマックスは、巡察に来た王爺とその地域の疫病を載せた「王船」を焼くシーンである(写真右)。



これにより、王爺は天へと送り返され、疫病はその地域から駆逐され、祭りは終わりを告げるのである。

奈良学園大学三郷キャンパスの地域貢献

地域振興

奈良学園大学三郷キャンパスの恒例行事、お花見を行い地域住民を初め約120名の参加があり、賑わいを見せていた。

産官学連携

三郷町産官学地域活性化連絡協議会は、（産）三郷町商工会、（官）三郷町役場、（学）奈良学園大学の3団体と奈良県立西和清陵高等学校、ハートランド信貴山看護専門学校による賛助会員により構成されている。本学は、その一翼を担うべく協議会と連携し、事業を展開し、本年度事業としては、「ワーキング会議の開催」「ひまわり植生事業」「七夕まつり・協力事業」「文化祭出展事業」「イルミネーション事業」「オルゴール水車アップグレード事業」「風の郷龍田古道プロジェクト事業」と7事業を実施した。

産官学連携風の郷 龍田古道プロジェクト

この事業は、平成27年度の産官学事業「コミュニティ開発プロジェクト」参加いただいた方々が「風の郷 龍田古道プロジェクトを」組織し、住民が中心となって活動している。本学として、産官学の事業の一貫として、知的資源の提供など、側面から協力している。

日本遺産に登録された龍田古道

《もう、すべらせない！！～龍田の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ～》

「亀の瀬」、それは奈良と大阪の国境に位置し、奈良盆地の水を一手に集める溪谷地帯。ここは、4万年前から地すべりが繰り返されてきた難所でありながら、古代より都の西の玄関口として交通・経済・治水を支えてきた心臓部だ。万葉びとが歌に詠み、文物の往来によって発展を遂げた「龍田古道」は、地すべりの恐怖と隣り合わせにある。古代からこれまで、人々は都度の最新技術を結集させてこの要衝地を守り、龍田の風の神がその歴史と常にとともにあった。龍田の風を肌を感じながら古道を歩いてみよう。

土砂に埋もれた鉄道トンネルを覗き、未来の暮らしを支える土木技術に触れ、いざ亀の瀬を越えたとき、自然の驚異と寄り添い暮らす日本人ならではの心のありようが見えてくる。

（令和2年度「日本遺産(Japan Heritage)」の認定結果より）



【龍田大社拝殿】



【地すべりに埋もれた亀の瀬トンネル】

奈良学園大学 人間教育学部 紹介

人間教育学部 人間教育学科



学校現場での経験豊富な教員による、希望進路別のきめ細かい指導で、学生のやる気を「志」にまで高めます。



幼稚園・保育所・こども園、小学校、中学校・高等学校（国語・数学・音楽）それぞれの教員を目指す専修を設置。

より優れた指導力を求める



子どもに向き合う自分を磨く

専門家であり続ける

教員採用試験合格を最優先課題に、1年次から強かにサポートします。



子どもたちの成長をサポートし、長年先生として活躍し続けるために必要な3つの力「豊かな人間力」「高度な実践力」「柔軟な教育力」を養います。

「人間教育実践力開発演習」や「教職表現力演習」などの実習プログラムも充実しており、情報収集力を鍛え、スピーチやプレゼンテーションなどコミュニケーション能力を強化します。



子どもに関わる3免許（保育士、幼稚園1種、小学校1種）は、4年間で同時取得が可能です。



令和3年度奈良学園大学公開講座の御案内



令和2年に起きた新型コロナ問題により、講演会開催運営方法についての多様な配慮をしつつ、令和3年度奈良学園大学公開講座を従来通り、年度内3回開催する予定で計画を進めております。

尚、時勢の状況によっては変更となる事も含めお知りおきください。



奈良学園大学 三郷キャンパス 社会・国際連携センター

〒636-8503 奈良県生駒郡三郷町立野北3丁目12-1

TEL 0745-73-7800 FAX 0745-72-0822

E-Mail kouza@naragakuen-u.jp

ご質問等ございましたら、お気軽に上記電話・FAX及びE-Mailまで、お問合せください。

